

第七十三回 帝國議會

## 日滿司法事務共助法案外三件委員會議錄(速記)第一回

付託議案  
日滿司法事務共助法案(政府提出、貴族院送付)  
民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)  
民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)  
外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

昭和十三年三月七日(月曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松永 東君

理事内藤 正剛君 理事田中 亮一君

理事原 玉重君 理事小林 紹治君

原 夫次郎君 今成留之助君

伊藤 五郎君 江原 三郎君

松川 昌藏君 高見 之通君

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 久山 知之君

司法參與官 藤田 若水君

司法省民事局長 大森 洪太君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省調査部長 井上 登君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

日滿司法事務共助法案(政府提出、貴族院送付)

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○松永委員長 ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、委員會ニ出テ居リマス全部ノ

案ノ提案理由ノ説明ヲシテ戴イテ、ソレカラ順次質問ヲヤツテ戴キタイト思ヒマス、先づ説明ヲ一ツシテ戴キマス

○久山政府委員 只今議題トナリマシタ日

満司法事務共助法案ニ付テ、提案理由ヲ御説明申上ゲマス、御承知ノ如ク滿洲國ニ於

キマシテハ、建國以來銳意其ノ司法制度ノ整備ニ努力致シ、昨年中主要法規ノ制定及び實施ヲ完了致シマシタノデ、我國ハ昨年

十二月一日ヨリ滿洲國ニ於ケル領事裁判權ヲ撤廢シ、其結果滿洲國內ニ在ル帝國臣民モ、齊シク滿洲國ノ法權ニ服スルコトニナッタノデアリマス、隨テ其後ハ日滿兩國間ノ司法事務ノ共助ハ、我國ニ於キマシテハ明

モ、齊シク滿洲國ノ法權ニ服スルコトニナッタノデアリマスカラ、政府ハ其修正ニ同意ヲ致

本案第六條ニ對シマシテハ、貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘラレタノデゴザイマスガ、原案

ノ趣旨亦固ヨリ是ト異ナルモノデハナイノ

モ、齊シク滿洲國ノ法權ニ服スルコトニナッタノデアリマス、次ハ民法中改正法律案

治三十八年法律第六十三號外國裁判所ノ囑付

外二件ノ法律案提出ノ理由ヲ申述ベタイノ

託ニ因ル共助法ノ規定ニ依ル外ナインデアリマスガ、是ハ既ニ本會議ニ於テ説明ヲ致シタモノニ、多少之ヲ補充シテ御説明申上げタイト存ジマス、是等ノ法律案ハ、

何レモ第七十回帝國議會ニ於テ御賛成ヲ得マシタ司法法規整備、即チ司法法規ノ部分的改正ノ事業ノ一部ヲ成スモノデアリマス、

先づ民法中改正法律案デアリマスルガ、其改正ノ要點ハ三ツゴザイマス、其一ハ、民法法人ニ關スル登記期間ヲ改メ、主タル事務所ノ所在地ニ於ケル期間ヲ二週間ニ延長シ、從タル事務所所在地ニ於ケル期間ハ更ニ之ヨリ一週間ヲ延長シ、實際上ノ不便ヲ除カントシタ點デアリマス、其二ハ、相手方ガ不明ナ場合、又ハ相手方ハ明デアッテモ其所在ガ不明ナ場合ニ付キ、左様ナ相手方ニ對シテ爲サルベキ意思表示ノ方法ヲ新ニ設ケ、現行法ノ不十分ナル所ヲ補ハントシタ點デアリ、其三ハ、所謂短期消滅時效ノ定アル權利モ、判決、裁判上ノ和解其他は同様ノ效力ヲ有スルモノニ依シテ確定致シマシタ以上、最早短期ノ時效ニ服セシムベ

キ事由ハ消滅致シマスル爲メ、爾後ハ通常ノ債權ト同様ニ、即チ消滅時效ノ期間ヲ十年ト云フコトニ改メタ點デアリマス、次ニ民事訴訟法中改正法律案デアリマスルガ、改正ノ第一點ベ、實際ノ必要上裁判所ノ職權ヲ以テ公示送達ヲ爲シ得ベキ場合ヲ認メタコトデ、第二點ハ取下ノ手續ヲ簡便ニシタコトデアリマス、改正ノ第三點ト致シマシテハ、第三者ニ賃貸サレテ居ル不動産ノ競賣ニ付キ、賃料ノ前拂、敷金ノ差入ノ有無等ヲ取調べ、且ツ之ヲ公告スベキ事項ノ中ニ加ヘ、第四點ト致シマシテ、不動産競賣ノ申出ヲ爲サントスル場合ハ、必ズ競買代金ノ一部ニ相當スル保證ヲ立テルコトニ致シマシテ、此二點ハ競賣價格ノ適正ヲ保持シ、執行ノ妨害ヲ除去セントスルモノデゴザイマス、改正ノ第五點ハ、不動産假差押ニ付キ管轄執行裁判所ヲ規定シ、解釋上ノ疑義ヲ一掃シタノデアリマス、次ニ外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案デアリマスルガ、現行法ニ於キマシテハ、外國ノ裁判所ヨリ同法事務ノ共助ヲ求メラレマシタ場合ニ、我國ノ裁判所ガ之ニ應ジマスルニハ、其國ガ囑託シタル事項ノ施行ノ爲ニ要スル費用ノ辨償ヲ保證シタル場合デアルコトヲ條件トスルノデアリマスガ、昭和十一年條約

第三號「猥褻刊行物ノ流布及取引ノ爲ノ國際條約」其他現行ノ條約中ニハ、囑託ヲ受ケタ國ニ於テ自ラ費用ヲ負擔シテ受託事項ヲ施行スルヤウニ定メタモノガ出來テ參リマスガ、此中共助ニ關スル法律案ハ、第七十回帝國議會ニ提出致シタモノト同一デアリマスガ、此中共同助ニ關スル法律案ハ、第七マスガ、此中共同助ニ關スル法律案ハ、第七十回帝國議會ニ提出致シタモノト同一デアリマシテ、先回ハ衆議院ノ解散ノ爲ニ審議未了トナツタモノデゴザイマス、以上四案共何卒十分御審議ノ上御協贊アランコトヲ御願致シマス。

○松永委員長 質疑ノ通告ガアリマス、便宜上先づ日滿司法事務共助法案ニ付テノ質疑カラ始メテ戴キタイト思ヒマス——今成活用ハ非常ニ日滿貿易ノ上ニ於テ至大ナ關係ヲ持テ居ルト信ジマヌ、隨ヒマシテ滿洲國ニ於ケル司法制度ガ、果シテ國民ノ要求スル通リノ制度ニ今日ナツテ居ルカドウカ、此點ヲ第一ニ承リマス、商品取引代金ノ回収等ニ付テ、我ガ帝國ト同ジヤウナ組織ニ最早完備シテ居リマスカドウカ、此點ヲ承認タイ

○今成委員 治外法權撤去ノ爲ニ此御提案ヲナサレマシタコトニ付キマシテハ、至極贊意ラ表スルモノデゴザイマスガ、一二質疑ヲシテ見タイト思ヒマス、滿洲國ノ治安維持ニ付キマシテハ、日滿一體ノ原則ニ依リマシテ、相當ノ成果ヲ擧ゲテ居ルコトハ、吾々モ想像出來ルノデゴザイマスガ、司法事務ノ全般ニ亘リマシテ、果シテ滿洲國ニ於テ日本ト相互的ニ之ヲ共助出來ルヤウナ、

司法制度方完備シテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、非常ナ疑問ヲ持テ居ルベキ規定ヲサヘモ採用致シマシテ、又之ヲ施行スルヤウニ定メタモノガ出來テ參リマスガ、此法律ヲ改正スル必要ヲ認メタシタノデアリマス、以上ノ理由ヲ以チマシテ是等ノ四ツノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマスガ、此中共同助ニ關スル法律案ハ、第七十回帝國議會ニ提出致シタモノト同一デアリマスガ、此中共同助ニ關スル法律案ハ、第七十回帝國議會ニ提出致シタモノト同一デアリマシテ、先回ハ衆議院ノ解散ノ爲ニ審議未了トナツタモノデゴザイマス、以上四案共何卒十分御審議ノ上御協贊アランコトヲ御願致シマス。

○松永委員長 質疑ノ通告ガアリマス、便宜上先づ日滿司法事務共助法案ニ付テノ質疑カラ始メテ戴キタイト思ヒマス——今成活用ハ非常ニ日滿貿易ノ上ニ於テ至大ナ關係ヲ持テ居ルト信ジマヌ、隨ヒマシテ滿洲國ニ於ケル司法制度ガ、果シテ國民ノ要求スル通リノ制度ニ今日ナツテ居ルカドウカ、此點ヲ第一ニ承リマス、商品取引代金ノ回収等ニ付テ、我ガ帝國ト同ジヤウナ組織ニ最早完備シテ居リマスカドウカ、此點ヲ承認タイ

○松阪政府委員 滿洲國ノ司法制度ノ完備ノ程度ニ付テノ御質問デアリマスルガ、滿洲國ハ成立以來我國カラ優秀ナル判檢事等ヲ招聘致シマシテ、向フノ官吏ニ任命シ、著々トシテ法ノ完備、ソレカラ其運用ニ付キマシテ非常ナル努力ヲ致シテ參ッタノデアリマス、既ニ治外法權撤廢當時マデニ、殆ド主要ナル法規ニ付キマシテハ立法ヲ完備致シマシテ、其内容カラ申シマシテモ、



テ居ル者ガ多數アルノデゴザイマス、隨ヒ  
マシテ多クノ中ニハ、極メテ少數デハゴザ  
イマスルガ、是ガ爲ニ品位ヲ害スルヤウナ  
行爲ヲ爲ス者ガゴザイマシテ、司法部全體  
ノ爲ニ吾々ハ常ニ遺憾ニ思ッテ居ル點デゴ  
ザイマスガ、是ハ要スルニ生活難ノ結果ガ  
大部分ノ原因ヲ爲シテ居ルヤウニ考ヘラレ  
ルノデアリマス、斯様ナ實情デアリマスル  
カラ、司法部擴張ノ聲ノ高イ際ニ、司法部  
ノ官憲ノ方面ヨリ御採用ニナルコトモ一ツ  
ノ方法デゴザイマセウガ、此困ッテ居ル所  
ノ少壯有爲ノ在野ノ法曹ヨリ御採用ニナリ  
マスルコトガ、滿洲國ノ司法部ノ確立ヲ期  
サレル爲ニ最モ捷徑デアルノデハナイカ、  
只今承リマスト、判事ガ五十二名、檢事ガ  
三十名ト云フノデゴザイマスガ、コンナコ  
トデハ眞ニ近キ將來ニ於テ滿洲國ノ司法部  
ノ確立ナドハ到底及バナイト思ヒマス、私  
モ先年滿洲地方ヲ二三回廻リマシテ、一番  
先ニ考ヘナケレバラヌト思ヒマシタノハ、  
司法部ノ確立デアリマス、無論治安維持ハ  
最モ大事デゴザイマスガ、其次ニハ行政ノ  
確立ヨリモ司法部ノ確立ヲシナケレバ、滿  
洲國ノ治安ハ維持出來ナイノデアリマスカ  
ラ、努メテ早ク此事ノ確立ヲ執事シテ居ツタ  
ノデアリマスガ、今承ルト僅ニ八十有餘名

ニ過ギナイト云フコトハ、日本ノ司法官ガ  
手不足デアッテ、多數ニ採用シテ御世話ナサ  
レバ、我ガ司法部ニ缺陷ヲ生ズル、斯ウ云  
フ爲ニ斯様ナ少人數ダラウト思ヒマスガ、  
進ンデ在野ノ少壯ノ法曹ヲ御採用ニナル御  
意思ガアルカドウカ、若シ御意思ガナカツタ  
ナラバ、是ヨリ御研究ニナリマシテ、優秀  
ナ在野法曹カラ多數ノ司法官ヲ御世話下サ  
ルヤウニ、司法省ノ幹部トシテハ十分ニ御  
研究ヲ御願シタイト思ヒマスガ、其點ニ付  
ノ方法デゴザイマセウガ、此困ッテ居ル所  
ノ少壯有爲ノ在野ノ法曹ヨリ御採用ニナリ  
マスルコトガ、滿洲國ノ司法部ノ確立ヲ期  
サレル爲ニ最モ捷徑デアルノデハナイカ、  
只今承リマスト、判事ガ五十二名、檢事ガ  
三十名ト云フノデゴザイマスガ、コンナコ  
トデハ眞ニ近キ將來ニ於テ滿洲國ノ司法部  
ノ確立ナドハ到底及バナイト思ヒマス、私  
モ先年滿洲地方ヲ二三回廻リマシテ、一番  
先ニ考ヘナケレバラヌト思ヒマシタノハ、  
司法部ノ確立デアリマス、無論治安維持ハ  
最モ大事デゴザイマスガ、其次ニハ行政ノ  
確立ヨリモ司法部ノ確立ヲシナケレバ、滿  
洲國ノ治安ハ維持出來ナイノデアリマスカ  
ラ、努メテ早ク此事ノ確立ヲ執事シテ居ツタ  
ノデアリマスガ、今承ルト僅ニ八十有餘名

ニ過ギナイト云フコトハ、日本ノ司法官ガ  
手不足デアッテ、多數ニ採用シテ御世話ナサ  
レバ、我ガ司法部ニ缺陷ヲ生ズル、斯ウ云  
フ爲ニ斯様ナ少人數ダラウト思ヒマスガ、  
進ンデ在野ノ少壯ノ法曹ヲ御採用ニナル御  
意思ガアルカドウカ、若シ御意思ガナカツタ  
ナラバ、是ヨリ御研究ニナリマシテ、優秀  
ナ在野法曹カラ多數ノ司法官ヲ御世話下サ  
ルヤウニ、司法省ノ幹部トシテハ十分ニ御  
研究ヲ御願シタイト思ヒマスガ、其點ニ付  
ノ方法デゴザイマセウガ、此困ッテ居ル所  
ノ少壯有爲ノ在野ノ法曹ヨリ御採用ニナリ  
マスルコトガ、滿洲國ノ司法部ノ確立ヲ期  
サレル爲ニ最モ捷徑デアルノデハナイカ、  
只今承リマスト、判事ガ五十二名、檢事ガ  
三十名ト云フノデゴザイマスガ、コンナコ  
トデハ眞ニ近キ將來ニ於テ滿洲國ノ司法部  
ノ確立ナドハ到底及バナイト思ヒマス、私  
モ先年滿洲地方ヲ二三回廻リマシテ、一番  
先ニ考ヘナケレバラヌト思ヒマシタノハ、  
司法部ノ確立デアリマス、無論治安維持ハ  
最モ大事デゴザイマスガ、其次ニハ行政ノ  
確立ヨリモ司法部ノ確立ヲシナケレバ、滿  
洲國ノ治安ハ維持出來ナイノデアリマスカ  
ラ、努メテ早ク此事ノ確立ヲ執事シテ居ツタ  
ノデアリマスガ、今承ルト僅ニ八十有餘名

ニ過ギナイト云フコトハ、日本ノ司法官ガ  
手不足デアッテ、多數ニ採用シテ御世話ナサ  
レバ、我ガ司法部ニ缺陷ヲ生ズル、斯ウ云  
フ爲ニ斯様ナ少人數ダラウト思ヒマスガ、  
進ンデ在野ノ少壯ノ法曹ヲ御採用ニナル御  
意思ガアルカドウカ、若シ御意思ガナカツタ  
ナラバ、是ヨリ御研究ニナリマシテ、優秀  
ナ在野法曹カラ多數ノ司法官ヲ御世話下サ  
ルヤウニ、司法省ノ幹部トシテハ十分ニ御  
研究ヲ御願シタイト思ヒマスガ、其點ニ付  
ノ方法デゴザイマセウガ、此困ッテ居ル所  
ノ少壯有爲ノ在野ノ法曹ヨリ御採用ニナリ  
マスルコトガ、滿洲國ノ司法部ノ確立ヲ期  
サレル爲ニ最モ捷徑デアルノデハナイカ、  
只今承リマスト、判事ガ五十二名、檢事ガ  
三十名ト云フノデゴザイマスガ、コンナコ  
トデハ眞ニ近キ將來ニ於テ滿洲國ノ司法部  
ノ確立ナドハ到底及バナイト思ヒマス、私  
モ先年滿洲地方ヲ二三回廻リマシテ、一番  
先ニ考ヘナケレバラヌト思ヒマシタノハ、  
司法部ノ確立デアリマス、無論治安維持ハ  
最モ大事デゴザイマスガ、其次ニハ行政ノ  
確立ヨリモ司法部ノ確立ヲシナケレバ、滿  
洲國ノ治安ハ維持出來ナイノデアリマスカ  
ラ、努メテ早ク此事ノ確立ヲ執事シテ居ツタ  
ノデアリマスガ、今承ルト僅ニ八十有餘名

タノデアリマスルガ、貴族院デハ寧ロ其點ヲ明瞭ニシタ方ガ宜イト云フノデ「共助ヲ爲スニ付強制ノ處分ヲ必要トスルトキ」ト云フコトニ改メラレタノデアリマシテ、趣旨ニ於テハ同一デアリマスルカラ、即チ之ニ同意ヲ致シタ次第デアリマス

○高見委員 六條ハ強制處分ダケニ限ルノデアッテ、其他強制處分ニ依ラザル檢事ノ共助ヲ要スルト云フヤウナモノヘ、此中ニ入ラナイノデアリマスカ

○松阪政府委員 第一條ニ於キマシテ、日本ノ檢事ガ滿洲國ノ檢察官ヨリ共助ヲ賴マ

レタ場合ニ爲スベキ事項ノ中デ、犯罪ノ捜査ト云フコトヲ三號ニ掲ゲテ居リマスカラ、

此犯罪ノ捜査ハ強制力ヲ用ヒル場合ト、強制力ヲ用ヒザル場合トヲ固ヨリ含ム趣旨デア

リマシテ、之ニ依ッテ犯罪ノ捜査ノ共助ニ應ジ得ルコトニナッテ居リマスガ、而シテ第十

一條ニ「受託事項ハ帝國ノ法令ニ依リ之ヲ實施ス」ト云フコトヲ規定シテ居リマスカラ、

此十一條ノ結果、日本ノ刑事訴訟法ニ依ッテ此犯罪ノ捜査ヲ實施スルト云フコトニナルノデアリマスノデ、犯罪ノ捜査ヲ實施ニ付テハ、日本ノ刑事訴訟法ノ捜査ニ關スル一般

規定ノ適用ガアル、隨テ強制力ヲ用ヒザル場合ノ捜査ニ付キマシテハ、此刑事訴訟法

ノ規定ガ當然適用ニナルシ、又強制力ヲ用ヒル場合ニ於キマシテモ、日本ノ檢事ニ與ヘ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 サウシマスト其檢察官ノ爲シ

得ザル所ノ、所謂區裁判所ノ判事ニ請求シテ

ヤルノデアルガ、其他斯ウ云フ場合ヲ除イ

ガ、向フニハ阿片中毒者ガ多イ、斯様ナ者

テ執行スルノハ不相當ト言ハナケレバナラ

ヌ、或ハ又日本ニハ餘りナインデアリマス

ガ、向フニハ阿片中毒者ガ多イ、斯様ナ者

ヲ日本ノ刑務所ニ囑託ガアルト云フ場合ニ

ハ、是ハ或ハ不便ニモ當リマセウガ、又不相當

ト云フコトニモ當ラウト思ヒマス、其他不

便ナルトキト云フノハ、内地ノ刑務所ガ滿

員デアッタヤウナ場合ハ、不相當、不便ニ當

ルト思ヒマス、或ハ不便ト云フコトヲ掲ゲ

今滿洲在住ノ日本カラ行ッテ居ル裁判官モ

割合少ク、又豫審ノ制度モナイト云フコトデ

ル場合ニ於キマシテモ、日本ノ檢事ニ與ヘ

シ得ル譯デアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 サウシマスト其檢察官ノ爲シ

得ザル所ノ、所謂區裁判所ノ判事ニ請求シテ

ヤルノデアルガ、其他斯ウ云フ場合ヲ除イ

ガ、向フニハ阿片中毒者ガ多イ、斯様ナ者

テ執行スルノハ不相當ト言ハナケレバナラ

ヌ、或ハ又日本ニハ餘りナインデアリマス

ガ、向フニハ阿片中毒者ガ多イ、斯様ナ者

ヲ日本ノ刑務所ニ囑託ガアルト云フ場合ニ

ハ、是ハ或ハ不便ニモ當リマセウガ、又不相當

ト云フコトニモ當ラウト思ヒマス、其他不

便ナルトキト云フノハ、内地ノ刑務所ガ滿

員デアッタヤウナ場合ハ、不相當、不便ニ當

ルト思ヒマス、或ハ不便ト云フコトヲ掲ゲ

今滿洲在住ノ日本カラ行ッテ居ル裁判官モ

割合少ク、又豫審ノ制度モナイト云フコトデ

ル場合ニ於キマシテモ、日本ノ檢事ニ與ヘ

シ得ル譯デアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

度ガナイ、隨テ檢事ニ對シマシテハ非常ニ

廣汎ナ強制力ヲ與ヘテ居ルノデアル、勾引、

拘留、訊問等、日本ノ刑事訴訟法ガ日本ノ

檢事ニ與ヘテ居リマスヨリモ、ヨリ廣汎ナ

權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、滿洲國ノ檢察

官ガ捜査ニ付テ強制處分ヲ爲シ得ル場合デ

モ、日本ノ檢察官ハ爲シ得ナイ場合ガアル、

隨テ其爲シ得ナイ場合ノ必要上、此第六條

ト云フモノガ、ドウシテモ必要ニナッテ來ル

ノデアリマス

○高見委員 ソレカラ此第四條ノ「自由刑ノ

ラレテ居リマス強制處分ハ、固ヨリ刑事訴

訟法ニ於テ行ヒ得ルノデアリマス、唯此處

デ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、滿洲

國ニ於キマシテハ豫審ノ制度ガナインデア

リマス、滿洲國ノ刑事訴訟法ニハ豫審ノ制

アル、只今モ御質問ガアッタヤウニ、マダノ  
司法制度ノ完備ト云フコトハ前途遼遠ノ  
ヤウニ思フ、日本ノ現在ノ司法制度ニシ  
議論ガアル位デアリマスカラ、満洲ナドハ  
一層不十分、不完備ノ所ガアルダラウト思  
フ、ソコデ是ハ如何デスカ、一ツ御相談  
デアリマスガ、日本人ガ満洲へ行クテ何犯  
罪ヲシタ、ソレガ保釋デ日本へ歸ツテ來テ、  
サウシテ刑ノ執行ヲ受ケルト云フヤウナ場  
合ガアルトキニ、再審ノ途ヲ許スト云フヤ  
ウナ御考ガアリマスカ、尤モソレハ日滿間  
ニ於テ何カ再審ニ關スル事實ガナケレバイ  
ケマセヌガ、ツイ此間モ——再審ト云フコ  
トニ關シテハ、殆ド司法省ニハ例ガナク、  
再審ヲヤレバ三審裁判ガ四審裁判ニナル惧  
ガアリ、非常ニ慎ムベキコトデアリマスケ  
レドモ、ツイ此間モ私ノ郷里ノ方ニ再審  
ヲ申出デラレタ問題ガアリマシテ、現ニ今  
大審院ニ上告ヲ申出デテ、事件ガ繫屬シテ  
居ルノデアリマスガ、其處ニ全ク新シキ事  
實ガ現レタリト云フヤウナコトガアリマシ  
タナラバ、而モ其本人ハ満洲ノ裁判デハ不服  
デアル——日本ノ言葉ガ通ジナイガ如クニ、  
日本ノ人ガ満洲へ行クテ、満洲ノ裁判官ニ十  
分意思ガ通ジナイト云フヤウナコトガアッ

テ、ソコガ不便、不相當ト云フコトニナル  
ナラバ、話ハ五分デヤナイカ、サウ云フ時  
ニ再審ノ事實ガ出テ來ルヤウナコトガアレ  
バ、態、滿洲ノ裁判所へ行ッテ再審ノ申立  
ヲ——私滿洲ノ法律ハ知リマセヌカラ、  
サウ云フコトニナツテ居ルカドウカ分ラヌ  
ガ、コ、デ日本ノ大審院デ、權威アル裁判  
ノ下ニ再審ノ申立ヲ受入レルト云フヤ  
ウナ途ヲ御開キニナツタラ、私ハ非常ニ  
宜イグラウト思フ、尤モ滿洲ノ裁判ノ  
權威ヲ損フコトニナルトカ、滿洲ノ裁判ニ於  
テ既ニ確定シタルモノヲ日本デヤリ直ス、  
覆スト云フコトハ、ソレハ面白クナイ、宜  
シクナイ、ケレドモ滿洲ノ裁判ニ於テモ、  
尙ホ再審ノ途ガアルベキヤウナ新シイ事實  
ガアル、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ再審ノ  
途ヲ御開キニナツテ、日本人デ再審ヲ日本人  
ガ受ケ得ルト云フヤウナコトニ御ヤリニナ  
タナラバ、日本人ガアチラニ行ッテ安心シテ  
仕事ガ出來ルト思フノデアリマスガ、何カ  
サウ云フコトニ付テ御考ガアリマスカ、如  
何デアリマスカ

滿洲ニ於テ賭博ヲ致シタ場合ニハ、滿洲國ノ法律デ處罰ヲ受ケ、滿洲國ノ裁判所デ有罪ニ爲シ得ルノデアリマスガ、ソレガ日本ニ歸ツタ場合ニヘ、是ハ外國ニ於ケル犯罪デアリマスカラ、日本ノ刑法ノ總則ノ適用上處罰シ得ナイコトニナル、犯罪ニナラヌコトニナルノデ、左様ナモノニ付テハ事實再審ヲ行フト云フコトガ不可能デアリマスノミナラズ、再審其モノノ制度ガ、日本ノ裁判所ニ於ケル裁判ガ誤ツタ場合ニ、之ヲモウ一遍ヤリ直スト云フノガ再審ノ制度デアリマス、外國ノ裁判所ノ裁判ニ對シテ、日本ノ裁判所デ再審ヲヤルト云フコトヘ、制度上ニモ、亦再審ノ性質カラモ爲シ得ナイコトデアリマス、滿洲國ノ裁判ニ對シテ再審ノ途ヲ開クト云フコトヘ、政府トシテハ考ヘテ居ナインデアリマス

デヤッテ居ルヤウナ氣分デアリ、又其氣分デ行クノデアリマス、又何ト言ツタッテ其位ノ日本人ニ意氣ガナケレバイカナイ、デアリノデアッテ、日本ノ法律デ罰シ得ナイモノハ固ヨリ問題外デアル、ケレドモ殺人デアルトカ、詐欺デアルトカ云フヤウナモノデアッテ、或ル意味ニ於テ證據ガ現レテ來ルト、全ク人達ヒヲ起スヤウナ場合ガアル、サウ云フトキニ、殊ニ其事實ガ日本内地ニ於テ明瞭ニナツテ來ルト云フヤウナコトガアル場合ニ、態<sup>ミ</sup>ソレガ法律ニナイカラト云ツテ、十年、二十年ノ懲役ニ服スルト云フコトハ、非常ニ氣ノ毒デアル、ダカラ是ハ御考慮ニナルヤウナコトガアッテ然ルベキモノデハナイカト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

ハ、本來ハ五條ニ依リマシテ満洲國デ處罰シ得ル外、内地デモ處罰シ得ルヤウナ、二重ニ罰シ得ル規定ガアルノデアリマス、先程モ述べマシタル通リ、之ヲ再審シテ向フノ裁判ノ誤リヲ正スト云フコトハ、是ハ法ニ於キマシテモ、制度上茲ニ非常ナ困難ガアラウカト存ジテ居ル次第デアリマス○高見委員　是以上ハ議論ニナリマスガ、併シ満洲ト云フモノハ日本ノ勢力範囲ノモノデアル、又是カラドン／＼内地人ガ満洲ヘ行ッテ盛ニ効イテ貰ヒタイノデアリマスカラ、何カ特殊ノ日本人デアツテ、向フノ方ト言葉ガ通ジナイヤウナコトカラシテ、非常ニ不便、不都合、可哀相ナヤウナコトガ下ンドン起リ得ルノデアリマス、必シモ今私ノ言ツタ特定ノ場合ニ限ル譯デハナイケレドモ、一應御考慮ヲ御願シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ此機會ニ於テ聽イテ置キタイコトガアリマスガ、此間本會議デモ、ドナタデシタカ防共問題ニ付テ御質問ガアツノデアリマスガ、最近聞ク所ニ依リマスト、北鮮ニ於ケル朝鮮人デ、非常ニ共産思想ノ宣傳ヲ内々ヤツテ居ル者ガアル、其爲ニドン／＼國外ニ放逐シテ居ルコトガ事實相當ニ多イ、最近朝鮮人ノ「シベ

リヤ」ノ領土ニ居ル者ヲ、ズット奥地ヘ何十列車ヲ以テ移轉サシタト云フヤウナ話モ聞イテ居リマスガ、滿洲ノ中ニ於ケル、或ハ滿洲人、朝鮮人等デ、殊ニサウ云フヤウナ赤ノ宣傳ヲヤッテ居ル者ヲ、滿洲カラ放逐シリヤシタコトヲ内々聞イテ民ルノデアリマスガ、アノ滿洲ニ於ケル共產運動、ソレカラソレニ對スル對策ト云フモノハ、一體ドウ云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスカ、此法文ニハ大シタ緣故ハナイヤウニ見エマスケレドモ、或ル意味ニ於テ只今滿洲内ノ治安ノ狀態ハドウカ、法律ハ何處マデ行ツテ居ルカ、色々質問ガアリマシタ、ソレニ關聯シタコトデアリマスガ、「ソビエト」朝鮮、滿洲ノ間ニ於ケル共產運動ノ情勢ハドウデアルカ、ソレカラ尙ホ此機會ニ於テ聽音イテ置キタイノハ、大變ナ人數ヲ昨年ノ暮「ソビエト」政府ガ、浦鹽斯德附近ノ露領ニ於ケル滿洲人及ビ朝鮮人ヲ何十列車ニ乗セテ、「シベリヤ」ノ奥地ヘ移轉サシタト云フヤウナコトガアリマス、ソレ等ニ付テ何カ參考ニナルヤウナ材料ヲ持ツテ居ラッシャルカドウカ、アリマシタラ聽カシテ貰ヒタイ、ソレカラモウ一ツ滿洲ニ於ケル共產運動ト云フモノハ、ドウ云フ風ナ情勢ニナックテ居ルカ、白系露人ノヤウナ人ガ非常ニ日

○松阪政府委員 満洲國ニ於ケル共產黨運動ニ付キマシテハ、日滿間ニ於キマシテモ緊密ナル連絡ヲ取リマシテ、防共ニ努メテ居ルノデアリマス、尙ほ法制上ニ於キマシテモ、日本ノ治安維持法ニ當ルベキ、例ヘバ暫行徵治叛徒法ト云フヤウナ法律ガ滿洲ニモアリマスガ、向フノ共產黨運動ハ、内地ノ如キ運動モアリマスルガ、其以外ニ直チニ團結ヲ作リマシテ、一ツノ匪賊トシテノ、所謂共產匪ノ形態ニ於テ現レマシテ、各地ニ横行スル場合ガ屢、アルノデアリマス、是ハ滿洲國ト致シマシテモ、非常ニ討伐ニハ努力ヲ致シテ居リ、著々トシテ其效果ヲ擧ゲレニ付キマシテモ、日滿ニハ互ニ協力シマツ、アルト承ッテ居ルノデアリマスガ、我國ノ治安維持法ニ當ルヤウナ思想的運動、ソシテ、例ヘバ内地ノ檢事ガ、朝鮮ハ固ヨリ哈爾賓ヘモ始終出張サセマシテ、向フノ情勢ヲ聽キ、情報ヲ得ルト云フヤウナ方法デ、犯罪ノ發生前ニ於キマシテモ、思想運動ノ動向ニ付テハ十分注意ハ致シテ居リマス、唯先程御説明ニナリマシタ、列車ヲ以テ多數

ノ主義者ヲ向フへ送<sup>シタ</sup>ト云フヤウナ事實ニ  
ハ、私ハ今日マデ聞イテ居リマセヌ、大體  
其程度デ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○高見委員 併シ満洲ニ於ケル共產運動ニ  
關スル色々御努力ニナツテ居ルコトヲ事實  
トスレバ、何カソレニ關スル資料ガアルダ  
ラウト思ヒマスルカラシテ、御差支ノナイ  
限リニ於テハ、御調ノ上ニ於テ資料ヲ一ツ  
廻シテ貰ヒタイト思ヒマス  
○松阪政府委員 此資料ニ付キマシテハ、  
多クハ祕密ニ涉ルモノガ多イノデアリマス  
ガ、差支ノナイ程度ニ於テ提出スルコトニ  
致シマス  
○松永委員長 高見君、宜シウゴザイマス  
カ——中村高一君  
○中村委員 今成先輩カラ満洲ノ司法制度  
ニ付キマシテ色々質問ガアツタノデアリマ  
スルガ、日滿ノ司法事務協力ノ上ニ於テ一  
番必要ナノハ、ヤハリ私モ満洲ニ於ケル司  
法官ノ問題ダト思フノデアリマスガ、満洲  
國ガ獨立致シマスル前ニアリマシタ満洲ノ  
司法官ト云フモノハ、其儘今日採用ヲセラ  
レテ居ルノデアリマセウカ、或ハ中華民國  
時代ノ司法官ト云フモノハ、今日デハドウ  
云フ風ナ方法ニ依リマシテ現在ノ司法官ニ  
採用セラレテ居ルノデアリマセウカ、其點

ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松阪政府委員 司法官ノ採用ニ付キマシ

テハ、初メ満洲國成立當時ニ於キマシテハ、舊來カラアリマシタ支那ノ裁判官ヲ、一時

其儘採用致シテ居タノデアリマスガ、其後甚ダ不適當ナ者モ隨分アルノデアリマスカラ、之ヲ整理致シマシテ、惡イ者ハ著々トシテ罷メサセテ、新規ノ者ヲ採用スル、其

教育方針ハ先程申シタ通リデアリマスガ、採用ノ方法ト致シマシテハ、現在デハ満洲國ニ於テ、内地ノ所謂司法官試補ニ當ル者ヲ學習法官ト申シテ居リマスガ、其學習法官トシマシテ日本人及ビ満洲國人ヲ採用シ、勿論是等ハ何レモ相當ノ學歴アル者ヲ要件ニ致シテ居リマスルガ、此學習法官ニ關スル規則モ出テ居リマス、其一定ノ資格アル者カラ一定數ヲ採用致シマシテ、之ヲ各裁判所ニ於キマシテ教育スルト云フ方法デ、是カラ採ツテ居ルノガ一ツ、ソレカラ日本人ノ判檢事カラ採用スルノガ一ツ、ソレカラ司法部ノ法學校ト云フモノガゴザイマシテ、是ハ康德元年ニ出來タノデアリマスガ、此處デ教育シテ卒業シタ者ヲ採ルト云フ風ナルノデアリマスルガ、尙ホ舊來カラ採用シタ者ニ對シマシテハ、先程モ申シタ通リ之

ヲ司法部ノ法學校ニ入レマシテ、再教育、再訓練ヲ致シテ居ルノデアリマス、其結果

モ甚ダ好イト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス

○中村委員 此満洲國カラ出テ居リマスル参考資料ナドヲ見マスルト、司法考試ノ試

驗ト云フモノガアルヤウデアリマスルガ、受驗者ノ數ナドヲ見マスルト非常ニ少イヤ

ウニ見エル、是ハ司法官ノ試驗ヲ受ケル志望者ハコンナニ少イノデアリマスカ

○松阪政府委員 滿洲國人ニ於テハ資格ガ限定サレテ居ル結果、現在ニ於テハ此試驗ヲ受ケル資格者ガ割合ニ少イ、日本ニ於キマシテハ、御承知ノ通り非常ニ法律ニ關スル大學ガ多イノデ、勢ヒ司法官試補ノ高等試驗ヲ受ケル者モ多イノデアリマスガ、向

モ進ンデ治外法權ノ撤廢ヲサセルト云フコトハ、満洲ノ爲ニ必要デアルト思フノデアリ

マスガ、ソレニハ日本ノ力ナクシニ満洲國ノ完全ナル司法ノ運用ト云フモノハ出來ナイト、斯様ニ思フノデアリマシテ、サウ云フ

點カラ致シマシテ、最モ必要ナノハ司法官ナノデアリマス、今成サンカラモ先程意見ノ發表ガアリマシタガ、日本ノ内地ニハ既

コトガ、適當デハナイカト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ政府ノ御意見ヲ一ツ拜聽シタイト思フノデアリマス

○松阪政府委員 御意見御尤ト存ジマス、司法省トシテモ努力致シタイト思ッテ居リマス

○中村委員 異護士ノ中カラ滿洲司法官ニ採用サレテ居ル者ハアリマスカ

○松阪政府委員 只今數字ハ判明致シテ居

専門ノ大學卒業者モ非常ニ澤山居ルノデアリマシテ、司法試驗ノ受驗者ノ數ナドヲ見

マシテモ、日本ニ於テハ法律學ヲ修メタ者デセウカ、辯護士ノ中カラ司法官ナドニ採

シテモ、立派ナ司法官ヲ得ルニ付テハ、相當ノ年月ト相當ノ努力ガ要ルト思フノデア

リマスルガ、満洲國獨立前ノ司法官ト云フモノニ付テハ、色々批評モ聞イテ居リマスケレドモ、殆ド信賴スルニ足ラヌヤウナ人モ

澤山居ルト聞イテ居リマス、立派ナ司法官ヲ得ルコトニ相當ノ年月ヲ要スルトシマス

ルナラバ、私ハドウシテモ内地ノ法律ノ知識アル者ヲ採用スルコトガ最モ必要デハナ

イカト思フ、吾々ハ日本ト満洲ノ特殊ノ關係カラ致シマシテモ、制度ガ十分デナクト

モ進ンデ治外法權ノ撤廢ヲサセルト云フコトハ、満洲ノ爲ニ必要デアルト思フノデアリ

マスガ、ソレニハ日本ノ力ナクシニ満洲國ノ完全ナル司法ノ運用ト云フモノハ出來ナイ

ト、斯様ニ思フノデアリマシテ、サウ云フ

アリマセウガ、今日ニ於テコソ私ハ内地ノ法學校ヲ卒業スル者ガ澤山出ルヤウニナレバ、其時ハ内地カラ補助シナクテモ宜イデ

アリマシテ、追々制度ガ完備シテ満洲ノ採用スルヤウニナルデアラウト云フヤウナ

御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハ是ハ逆

ドヲ聽キマスト、追々制度ヲ確立スルデア

ラウカラ、サウシタナラバ段々内地ノ者モ

採用スルヤウニナルデアラウト云フヤウナ

御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハ是ハ逆

ドヲ聽キマスト、追々制度ヲ確立スルデア

ラウカラ、サウシタナラバ段々内地ノ者モ

採用スルヤウニナルデアラウト云フヤウナ

御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハ是ハ逆

ドヲ聽キマスト、追々制度ヲ確立スルデア

ラウカラ、サウシタナラバ段々内地ノ者モ

採用スルヤウニナルデアラウト云フヤウナ

御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハ是ハ逆

用シテ貰ヒタイト云フ希望者ナドハ、司法省ニ出テ居リマセヌデセウカ

○松阪政府委員 相當希望者ガアルヤウニ私聞及ンデ居リマス

○松永委員長 ソレデハ本案ニ付テノ質疑ハ大體終了致シタヤウデゴザイマスカラ、民法外二件ノ改正法律案ノ質疑ニ移リタイト思ヒマス——伊藤君

○伊藤委員 司法省ガ今回此民法中改正法律案ヲ御提案ニナッタノデアリマスルガ、吾々在野法曹トシテハ、非常ニ民法ノ不備ナル點ヲ澤山承知ラ致シテ居ルノデアリマスルガ、差當リ司法省トシテハ是ダケノ改正ヲスレバ宜シイト云フ御考デ、斯ノ如キ法案ヲ御提案ニナッタノデアリマスルカドウカラ、先ニ御尋致シタイノデアリマス

○井上政府委員 御答致シマス、今回提案致シマシタ民法中改正法律案及ビ民事訴訟法中改正法律案ハ、先程政務次官カラ申上ゲタ通リ、昨年ノ議會ノ協賛ヲ得マシテ、司法省デ今回法規整備ノ仕事ヲ始メタノデアリマス、其法規整備ノ仕事ト申シマスト、法律ノ不備ノ所、或ハイケナイ所ヲ部分的ニ、詰リ繼ギハギ的ニ少シヅ、直シテ行カウ、斯ウ云フ趣旨ナノデアリマス、ソレデ此仕事ハ民間ノ意見ヲ十分伺ヒタイト云フ

趣旨カラ致シマシテ、法規整備委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、其委員會ト協力シテリカラ致シマシテ、其法規整備委員會ノ官

制ガ法制局ヲ通過致シマシタノハ、昨年ノ十一月ノ終リノ頃ニナッテ居リマス、ソレカラ始メマシタノデ、今回ノ議會ノ開會期マニ幾ラモナカッタモノデアリマスカラ、殆ド難カシイコトヲヤル暇ガナカッタノデ、ソレモ出來ルダケノコトヲヤッタ方ガ宜カラ

ウト云フ考カラ致シマシテ、餘リ準備、調查等ニ時間ヲ要シナイデ出來ルト思ハレル點ダケラ選ビマシテ、今回提出致シタ次第デアリマス、デゴザイマスルカラ、此法規整備ノ事業ガ續キマス限リハ、是カラモ出來ル限リイケナイ所ヲ直シテ行キタイト云

○伊藤委員 私ハ大體此民法ノ思想トシテハ、ニ薄イ傾向ヲ見逃スコトハ出來ナイト思フ

○井上政府委員 御質問ノ點ハ、短期時效

ノ定メアル權利ニ付テ確定判決ガアッタ場

合ニハ、之ヲ十年ニ直スト云フ點ニ付テノ

○伊藤委員 サウ云フ目的ダトスルト、態

訴訟法ノ改正ヲ打切ルト云フ考ハ毛頭ナイノデアリマス、ソレデ今回提出致シタモノニ關係アル部分ニ付キマシテモ、尙ホ又整備ヲ致スカモ知レナイト思ヒマス

○伊藤委員 私ハ大體此民法ノ思想トシテハ、ニ明カダナクナリ易イト云フヤウナ場合ニハニ一度拂ヒスルヤウナコトガアッテハナラノデアリマス、隨テ御承知ノ如ク、此不公平ヲ調整スル爲ニ金錢債務調停法、或ハ其

他ノ調停法ヲ出シマシテ、其調和ヲ圖シテ居ツタコトハ、今更申上ガル必要ハナイノデアリマスルガ、私ハ此時效制度ノ如キモノモ、民法上ニ於ケル債務者ノ立場ヲ保護ス

シタノデアリマス

○伊藤委員 サウスルト此百七十四條ノ二ノ改正ノ目的ハ、寧ロ茲ニ勞働者トカ、サウ云ツタ極ク零細ナル債權者ト云ヒマスルカ、斯ウ云フモノヲ保護スル爲ニ作ツタト云

ルト云フ、一ツノ規定デアルト考ヘルノデノ改正ノ目的ハ、寧ロ茲ニ勞働者トカ、サウ云ツタ極ク零細ナル債權者ト云ヒマスルカ、斯ウ云フモノヲ保護スル爲ニ作ツタト云

○伊藤委員 サウスルト此百七十四條ノ二ノ改正ノ目的ハ、寧ロ茲ニ勞働者トカ、サウ云ツタ極ク零細ナル債權者ト云ヒマスルカ、斯ウ云フモノヲ保護スル爲ニ作ツタト云

○伊藤委員 サウ云フ目的ダトスルト、態

考ヘルノデアリマス

○今成委員 私モ成ベク簡単ニ質問致シマス、只今伊藤委員ノ御質問ニ對シテ政府ガ御答辯ニナリマシタノデスガ、民法ノ改正ニ付テ、法規整備委員會ト云フモノニ付議ナサイマシテ、全般的ノモノヲ今審議シテ居ルト云フノデゴザイマスガ、民法ノ制定ハ御承知ノ如ク約四十年バカリ前ゴザイマシテ、今日ノ文化ノ進展ニ伴ヒマシテ、實情ニ副ハザルモノガ多數アルノデアリマス、在野ノ方面ニ於キマシテモ、此改正ノ要望ガ多イノデアリマス、吾々ハ地方ニ居リマスガ、全般的ノ改正ガ今ノヤウニ遙々トシテ進マナインハ、ドウ云フ理由ゴザイマセウカ、例ヘバ賣渡擔保ノ如キモノハ、モノガナイ、是等ヲ法制化スルコトハ、モニ判例其他ニ依ツテ之ヲ認メテ居リマス、而シテ是ガ處理方法ニ付テハ未ダニ一定シタ

ウ十數年前カラノ輿論ダト思ヒマス、又一面ニ於テ人事編等ニ於テハ改正スペキ要點ガ多數アル、例ヘバ長男權ト云フモノヲ餘三男其他ノ弟妹ノ地位ト云フモノガ、非常ニ日本ノ民法トシマシテハ不都合ダト思ヒマス、或ハ戸主權ガ強大デ、相當ノ資力ガアリ、一家獨立シテ居ル家族ガ分家スルニ當リマシテ、横暴ナル戸主ノ爲ニ虐ゲラレテ、何時マデモウダツガ上ラナイト云フ制度ノ改正モ、多年ノ要望デアルト思ヒマス、斯様ナコトハ最早司法省ト致サレマシテモ研究ガ積ンデ居リハシナイカ、ナゼモット早ク御出シニナラヌノデアラウカ、ドウモ小出しニ御出シニナルヤウナコトノ爲ニ、吾々ハ法制ヲ研究スル違ガナイ程往々ニシテ惱ム、勉強スレバ宜イデハナイカト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、年々歲々小サイ所ヲチヨコヽ御改正ニナツタノデハ、吾々適從スル所ヲ知ラヌノデアリマスカ、ナゼ全般的ノ民法ノ改正ガ遲レテ居ルノカ、何時頃御出シニナル御見込デアリマスカ、今研究中ダト云フノデハイケナインデアリマスカラ、此點ニ付テノ政府ノ御答辯ヲ承リタイ

的改正ト致シマシテハ、只今御示シニナリ  
正ト云フ問題ガアルノデアリマス、是ハ御  
承知ノ通り曩ニ臨時法制審議會ニ於キマシ  
テ改正要綱ヲ決定致シマシテ、之ニ基イテ  
司法省内ノ委員會デ立案調査ヲ致シテ居ル  
ノデアリマス、是ガ十數年掛リマシテ、大  
變遷レマシタコトハ恐縮ニ存ズルノデアリ  
マスガ、其辯解ヲ申シマスルヤウデ甚ダ申  
譯ナイノデアリマスガ、司法省ニ於キマシ  
テハ、民事法規ト致シマシテ商法ノ改正ト  
云フ大キナ問題ヲ控ヘテ居ツタノデアリマ  
ス、商法ノ一般的改正ト、民法ノ人事法即  
チ親族編、相續編ノ一般的改正、此二ツヲ  
控ヘテ兩方一生懸命ニヤッテ居ツタノデアリ  
マス、此一大法典ヲ同ジ議會ニ提出スルト  
云フコトハ、事實上ニ於テ不可能デ、非常  
ニ困難デアリマス、而モ此兩者ヲ比較致シ  
マスルト、何レモ早急ヲ要シマスルケレド  
モ、ドカラカト申シマスレバ、商法ノ方ヲ  
急グ關係ガアリマシテ、商法ハ御承知ノ通  
リ當議會ニ於テ御審議ヲ願ツテ居ルノデア  
リマス、是ガ濟ミマスレバ、即チ此次ノ通常  
議會ニハ、民法ノ親族編ト相續編トヲ出シ  
タイト云フ目標ノ下ニ、今折角努力ヲ致シ  
テ居リマス、將來ノコトデアリマスカラ、

トシテハ此次ノ議會ニ於テ提案ガ出來ルト  
云フ積リデ、勉強致シテ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ賣渡擔保其他ノ點ニ付キマシテ、御指摘ノヤウナ問題ガ多々アルノデアリマスルガ、是ハ全般的改正ト申シマスヨリモ、丁度今御審議ヲ願ッテ居リマスルヤウナ法規整備上カラ樹立スル改正、是モ將來ノ問題デアリマスカラ、如何ナル改正ニ相成ルカハ存ジマセヌケレドモ、勿論必要ナル問題ニ亘ツテ研究立案ノ上、御審議ヲ願ヒタイト存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス

フコトヲ色々考へテ居リマスガ、是ハ司法部ノ發展ノ爲ニ殘念ニ存ジテ居ツタノデゴザイマス、是ニハ色々ノ事情モゴザイマスケレドモ、第一ニハ司法部デ法曹代議士ト云フモノノ存在ヲ御認メニナツテ居ル、カドウカト云フコトヲ疑フ、一ツノ法典ヲ御制定ナサルニ當リマシテ、法曹代議士ト云フモノノ意見ヲ十分ニ聽キ、或ハ委員等ニ其法曹代議士ヲ御入レニナリマシテ、相共ニ提携シ、法典ヲ編成ナサルコトニ致サレマシタナラバ、司法部ノ總テノ政治機關ノ運用ガ滑カニ行クモノデハナイカト考へテ居ルノデアリマス、從來ノ司法部ノ御扱ヒヲ見マスト、成程司法部ニハ立法技術ニ付テハ堪能ナ優秀ナ方ガオ居デニナルコトヲ認めマス、併シ立法技術ニ堪能ナ方必シモ政治的ニ堪能トハ言ヘナイ、又在野ノ方カラモ多少御採用ニナツテ居リマスガ、其御顔觸レヲ見マスト、在野ノ立法技術家ヲヤハリ主ニ審議會其他ニ御入レニナツテ居ルヤウナ傾向ガアル、屋上屋ヲ架スルヤウナ考ガ致ス、寧ロソレヨリモ進ンデ政治的方面ノ技能者、練達堪能ノ法曹代議士ヲ御入云フコトハ、立法技術ノ方面ヨリモ、寧ロ制ガ國民大衆ニドウ云フ影響ヲ及ボスカト

政治的堪能ノ方面ノ方ヲ御入レニナリマシ  
タ方ガ、實情ニ即シタ立法ガ出來ルト思フ  
ノデアリマス、斯様ナ點ニ付キマシテ、將  
來十分ニ認識ヲ深メテ戴キマシテ、斯ウ云  
フ方面ノ相談機關ナリ審議機關ヲ擴張ナサ  
ル御意思ガアルカ、左様致シマスレバ、私  
ノ心配シテ居ルヤウナ、何トナク司法部ノ  
空氣ガ議會ニ滑カニ行ッテ居ラヌコトヲ、餘  
程緩和サレルト思フノデアリマスガ、左様  
ナ方面ニ付キマシテ、幸ヒ參與官モ御列席  
ニナツテ居ルノデアリマスカラ、將來政治的  
方面ノ在野法曹ヲ簡拔致シマシテ、サウシ  
テ司法部ニ參與セシムルト云フヤウナ制度  
ニ——制度ト申シマスルカ、左様ナ方針ヲ  
御執リニナルヤウナ御意思ガアルカドウカ  
ト云フコトヲ承リタイト思フノデアリマス  
○藤田政府委員 今成君ノ御意見ヘ、是ハ  
非常ニ尊重致シテ、サウ云フ風ニ行キタイ  
ト心得ヘテ居リマス、私共ノ考カラ申シマ  
シテモ、又衆議院ヤ貴族院ニ議席ヲ持ツテ  
居リマスル議員ノ諸君、特ニ衆議院ニハ吾々  
ト同ジヤウニ司法部ニ理解ヲ持ツテ居リ  
マス人ハ相當多數アルノデアリマス、其多  
數アル御方ノ御考モ、此司法部ニ向ツテモウ  
ト思ヒマス、私ハ司法省ノ方へ間違ツテ入り

マシタガ、入リマス以前カラサウ考ヘテ居作ルノダカラ、司法部ニ關係ガ深イモノヲ皆吾々ノ手デ作ルノニ、連絡モ何モナクテハイカ又カラ、之ヲ一ツ連絡ヲ付ケタ上デ支持シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ前ニモ考ヘテ、同志ノ間ニ話合ッテ居ツタノデアリマスガ、司法省へ入リマシテ、ソレヲ特ニ痛感スルノデアリマス、司法省ノ現在ノヤウナ情勢デアリマシテ、諸君モ御承知ノ通り人權蹂躪トカ色々ナコトガ起ルノデアリマスケレドモ、ソレハ一ツハ制度ノ上ニ於テ非常ナ缺陷ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ニアリマスルカラ、斯ウ云フ意見ヲ持ッテ居ル人モ段々アリマス、司法部現在ノ人事ノ上ニ、役人モ三倍位ニ判事デモ檢事デモシナクテハナラヌ、現在ノ役人ヲ二倍以上三倍位殖ヤス位ノ英斷ヲ施サナケレバ、本當ノ仕事ハ出來ヌダラウト云フヤウナ意見ガ、在野法曹ノ間ニ相當擡頭シテ居リマスルヤウナ事情ナノデアリマスルカラ、機會アル毎ニ此司法部ガ、議會ノ特ニ御理解ヲ持ッテ居リマスル諸君トノ連繫ヲ深ク致シマシテ、諸君ノ御支持ノ下ニ大改革ヲ斷行シナケレバナラヌ必要ニ直面シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、御趣旨ハ尊重致シ

フ實力ヲ具ヘテ居ル、然ルニ此人々ヲ今マ  
デ御利用ニナラヌ、サウシテ何トナクソコ  
ニ紙一枚ヲ置イタヤウナ氣分デアッタコト  
ハ、甚ダ遺憾デアリマス、只今御答辯ニ依  
リマシテ非常ニ私ハ満足致シマス、サウナ  
ルコトヲ期待致シマシテ、私ノ質問ヲ終リ  
タイト思ヒマス

○高見委員 委員長、一寸——色々善キ御  
話ヲ拜聽致シマシタ、所デ此百七十四條ノ  
二ト云フ點デアリマスガ、一寸承リタイノ  
デアリマス、民法第百七十四條ノ二ノ一年  
間デ時效消滅スルモノヲ、判決ガ確定スル  
ト十年ノ後マデ云々ト云フコトニナリマス  
ガ、從來ノ判例等ハドウ云フヤウニ取扱ツテ  
居ルノカ、一寸聽キタイノデアリマス

○井上政府委員 斯ウ云フ規定ガゴザイヤ  
セヌ限リハ、判決ガ確定致シマシテモ、民  
法ニ短期時效ガ定メテアルモノハ、ヤハリ  
短期時效ニ掛ツテ來ルコトニナルノデアリ  
マス

○高見委員 サウスルト今度ハ茲ニ百七十  
四條ノ二ヲ設ケラレテ、斯ウ云フ規定ヲセラ  
レルノデアリマスガ、固ヨリ是ハ消滅時效  
全般ニ關スルモノデアルデセウネ

○井上政府委員 ドウモ是ハ一年間、一年間、或  
○高見委員 サウデゴザイマス

ハ三年間ト云フヤウナモノヲ見ルト云フト、  
是ハ何カラカ翻譯ノ民法デハナイグラウカ  
ト思フノデスガ、如何デスカ、今度民法デモ  
改正サレル時ニ於テハ、此百七十條カラ百七  
十四條マデヲ、大體再検討デモサレル考ヲ  
以テ、是ハ御出シニナックノデアルカ、ソレカ  
ラ今後民法ヲ新ニオヤリニナルニ付テモ、  
百七十條カラ百七十四條マデハ、大體此性  
質デ御認メニナッテ、サウシテ今ノ改正案ヲ  
御出シニナックノデアリマスルカ、一寸聽イ  
テ置キタイト思ヒマス

○井上政府委員 今回ノ改正ハ、先程申上  
ゲマシタヤウニ、此法規整理ノ仕事ト致シ  
マシテ、部分的ニ極ク一箇條ヅツ、少シヅ  
ツ改正シテ行カウト云フ仕事デゴザイマシ  
テ、民法ノ前三編、詰リ總則、物權、債權  
ニ付キマシテハ、只今ノ所司法省ニ於キマ  
シテハ、之ヲ全般的ニ改革ラショウト云フ  
考ハ持ツテ居リマセヌ、サウシテ只今仰シ  
ヤツク短期時效ノ規定デゴザイマスガ、是ハ  
ヤハリ先程モ一寸申上ガシタガ、斯ウ云  
フ債權ハドウモ直キニ辨濟ラシテモ證據ガ  
レルノデアリマスガ、固ヨリ是ハ消滅時效  
トデアル、隨テ一遍辨濟シテモ辨濟ノ證據  
ガナクナック爲ニ、再ビ請求ヲサレタトキ

ニ裁判デ負ケテ、モウ一遍拂ハナケレバナ  
ラスト云フヤウナコトガ起ツテハイケナイ  
ト云フ趣意カラ、斯ウ云フ短期時效ガ決メ  
テアルノデアリマシテ、ソレモヤハリ相當  
理由ガアルト存ジマス、隨テ此短期時效ノ  
規定ヲ直サウ云フ考ハ只今ノ所持ツテ居リ  
マセス

○高見委員 是ハ斯ウ云フヤウナモノヲ學  
生ガ學校デ試験ヲ受ケルトキニハ、之ヲ暗  
記スル爲ニハ、百七十條、百七十一條、二  
年、一年、三年、五年ト云ウテヤツテ居ル  
ノデアルケレドモ、之ヲ立法府側カラ考ヘ  
テ見ルト、ドウモ醫師ヤ産婆ノ債權ハ三年  
デ、サウシテ運送貨ハ一年デアルト云フヤ  
ウナ趣意ガ、一體何處カラ出タノデアルカ、  
其點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○井上政府委員 御尋ノ點ハヤハリ程度ノ  
問題グラウト思ヒマス、詰リ先程申上ゲマ  
シタヤウニ、勞働者ノ債權、賃銀ト云フヤ  
ウナモノハ、特ニ辨濟ノ證據ヲ取ツテ置カ  
云フヤウナモノデモナカラウト思ヒマス、  
隨テヤハリ債權ノ存在ガ不分明ニナリ易イ  
點ガ、主タル理由ニナッテ居ルノデハナイカ  
ト存ジマス

○高見委員 尤モ勞働者ノ問題ダトカ云フ  
ヤウナモノハ、今日ノ時勢ニ於テ同情すべ  
キコトハ勿論デアリマスガ、或ハ貸席料、  
據ガ散佚シ易イト云フ點カラ、此一年、二  
年、三年ニ大體分ケラレタモノデアルカ、  
ラスト云フヤウナコトガ起ツテハイケナイ  
ト云フ趣意カラ、斯ウ云フ短期時效ガ決メ  
テアルノデアリマス、隨テ此短期時效ノ  
規定ヲ直サウ云フ考ハ只今ノ所持ツテ居リ  
マセス

○高見委員 是ハ斯ウ云フヤウナモノヲ學  
生ガ學校デ試験ヲ受ケルトキニハ、之ヲ暗  
記スル爲ニハ、百七十條、百七十一條、二  
年、一年、三年、五年ト云ウテヤツテ居ル  
ノデアルケレドモ、之ヲ立法府側カラ考ヘ  
テ見ルト、ドウモ醫師ヤ産婆ノ債權ハ三年  
デ、サウシテ運送貨ハ一年デアルト云フヤ  
ウナ趣意ガ、一體何處カラ出タノデアルカ、  
其點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○井上政府委員 御尋ノ點ハヤハリ程度ノ  
問題グラウト思ヒマス、詰リ先程申上ゲマ  
シテハ、之ヲ全般的ニ改革ラショウト云フ  
考ハ持ツテ居リマセヌ、サウシテ只今仰シ  
ヤツク短期時效ノ規定デゴザイマスガ、是ハ  
ヤハリ先程モ一寸申上ガシタガ、斯ウ云  
フ債權ハドウモ直キニ辨濟ラシテモ證據ガ  
レルト云フコトハ、中々通常アリ得ナイコ  
トデアル、隨テ一遍辨濟シテモ辨濟ノ證據  
ガナクナック爲ニ、再ビ請求ヲサレタトキ

木戸錢トカ、ソレカラ消費物價ノ立換ヘ、  
或ハ動産ノ損料ダトカ云フヤウナモノト、  
技師、棟梁、請負人ノ債權ナドト云フモノ  
ヲ、一ツハ三年ニシ、一ツハ一年ニスルト  
云フコトハ、單純ナル詰リ證據物バカリデ  
ハナイ、本質的ニアルノデハナイカ、例ヘ  
バ請負業ノヤウナモノハ、百万圓ノ工事ヲ  
ヤツテモ、證文一本取ラナイデ、宜ウガス、  
引受ケマストト言ツテ、ソレカラ建前ニ掛カ  
ル、サウ云フモノハ證據物件ト云フモノハ  
ナイト言ヘバナイ、所ガ料理屋ノ拂ト云フ  
モノハ、十年經ッテモ帳面ニ付ケテアルコト  
ハ幾ラモアル、證據物件ト云フモノニ、一  
ハ三年間モ認ヌテヤル方ガ宜イ、一ハ一年  
經テバソレデ宜イノデハナイカト云フコト  
ハ、本質的ニ分ケタモノデハナイノデスカ  
○藤田政府委員 今井上政府委員ノ申シタ  
ヤウニ、常識デ決メタノデアツテ、本質的ニ  
申シマシテモ、マア料理屋デ飲ンダ者ガ、  
飲代ヲ一年以上モ放ツテ置クト云フコトモナ  
ク、飲マセタ料理屋ガ一年以上モ取立テナ  
イデ放ツテ置ク、詰リ權利ノ上ニ眠ルト云フ  
コトモ、普通ノ常識デハナイノデハナイカ、  
ナイデ長イ間居レル譯ハナイト云フ社會ノ  
勞働者ノ賃銀モ拂ハナイデ、長イ間放ツテ置  
イテ、勞働ニ從事シタ者モ、其賃銀ヲ貰ハ

實情カラ、現在デハ直サナケレバナラヌモノモアリマセウガ、其立法セラレタ當時ノ實情カラ見レバ、サウ長ク權利ノ上ニ眠ル筈ハナイデハナイカ、其ノ位眠ツテ居レバ證據モ散佚スルダラウト云フ風ナ、債權ノ實際ニ立脚シテ決メル、唯是ハ一年デ宜カラウ、三年デ宜カラウ、十年デ宜カラウト云フコトヲ決メルノハ、程度論ナンデス、併シ本質的ニ云ヘバ、債權債務ノ關係自體ハ本質的ニ違テ居ル、ソコデ段ヲ決メス。

○高見委員 サウンマスト私ハ一ツノ質疑  
ガアル、ソレナラバ元來是ハ本質的ニ三年、  
二年ニ分ケラレタ、サウ云フ區別ヲ改正ス  
ル意思ガナイト仰シヤルナラバ、裁判ヲシ  
タカラト云ッテ、直グ一年、二年、三年ヲゴッ  
チヤニスルト云フコトハドウデアルカ、ソ  
コハ少シ御考ノ點カドウカト思フ、サウ云  
フコトヲ裁判所ガ裁斷ヲヤルト云フコトガ、  
所謂今日ノヤウニ裁判々々ト云フヤウナコ  
トデ事件ガ起リ易クナル、是ガ飲ンダ奴セ、  
不動産ノ損料モ、又委員長初メ吾々選舉ニ  
出ルガ、サウ云フ際ニ不動産デ金ヲ借りリタ  
ト云フ場合ニ、サウ云フ權利ヲ其儘ニシテ  
置イテ、十年経ッテ差押ヘニ來ルト云フコト  
ニナルト、始末ノ付カヌコトニナル、ダカ  
ラ時效消滅デモ、裁判ガ確定シタカラ十年  
ニスルト云フコトハ、少シク意味ヲ爲サヌ  
デハナイカ、是モヤハリ相當ニ分割サレテ、  
已ムヲ得ナイモノハ今マデノヤウニ――ト  
判例モ不整備デアツテ仕方ガナイカラ一時是  
デヤル、サウシテ將來民法ヲ改正スル時ニ  
シテ置イテ、實ハ本質的ノモノデアルト言ッ  
テ、十年デ皆ドレモ是モ是デ片付ケルト云

フコトハ、徒ニ裁判ヲ起シ易クナル、サウシテ本質ノ精神ヲナクシ、料理屋ノ前モ動産屋ノ前モ通ラレナイ、アレハ十年ノ中ニイツ何時取リニ來ルカモ知レナイト云フヤウナ考ヲ起サセル、斯ウ云フコトヘドウモ風俗上面白クナイヤウニ思ヒマスカラ、更ニ之ヲ二二ツトカ三ツトカニ分ケテ、百七十條デモ確定シタル時ハ、更ニ二年或ハ三年ト云フヤウニ分類サレル必要ガアルガドウカ、其點ヲ伺ヒタイ

○井上政府委員 仰シヤル通り法律的ニ債權ノ相違モアルニハ違ヒナイケレドモ、ヤハリ何ト申シマシテモ、兎ニ角借リタモノハ返サナイデ濟マスト云フコトモ出來ナイデアラウ、ソレデ債務ガアルコトガ明ニナリマシタ時ハ、ヤハリ時效デ消滅サセルト云フコトハドウモ考ヘラレマセヌ

○高見委員 兎ニ角今日ノ債權債務ト云フモノノ見方ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、拂ハズニ居ルト云フ此事實——アナタ方ガ債權トカ債務トカ、學校ノ本ヲ引張リ出スヤウナコトヲ考ヘルカライカヌ、飲ンデ來タモノモ、食ッテ來タモノモ拂ハナイデ居ルト云フ此事實、ソレヲ裁判所デ確定シテ、十年据置クト云フコトハ、餘程世ノ中ノ醇風美俗ヲ維持スル上ニ於テ如何カト思

フ點ガアル、ソレデ私ハアナタ方司法省政  
府委員ノ御説明ニハドウモ満足致シマセヌ

○今成委員 私ハ議論スルノデハアリマセ  
ヌケレドモ、井上政府委員ノ御説明ガ餘り

オ眞面目過ギルト思フ、要スルニ斯ウザヤ  
ナイデセウカ、一般ノ人ガ訴訟入費ヲ使ツ

テ、サウシテ確定判決ヲ得タ氣分ト云フモ  
ノハ、マア是デユックリシタ、取ラウト

思ッタガ、相手ガ執達費用ニモ及バナイカ  
ラ、マア暫ク様子ヲ待タウト云フノガ實際

ノ實情デアルガ故ニ、サウ云フモノハヤハ  
リ一年ハ一年デ消滅サセル、二年ヲ二年デ

消滅サセルコトハ、費用ヲ使ツテ折角權利  
ヲ取ッタ者ニ氣ノ毒デアルト云フ事情ノ方

ガ澤山デ、本質論ヨリモ、サウ云フ人情的  
ナ意味ガ此改正ニナッテ來タノデハナイカ、

實際ノ事情ハ、訴訟入費ヲ使ヒ、辯護士ヲ  
賴ンデ、權利ヲ得タ、一安心ヲシタ、取レ  
ナイガ故ニ暫ク待タウト云フ氣分ヲ、一年

デ消滅サセテハ氣ノ毒ダト云フ、同情心カ  
ラ出タ改正案ダト思フノデスガ、率直ニサ  
ウ仰シヤッテハ如何デセウカ

○井上政府委員 御説ノ通り、先程モ一寸  
申上ゲマシタガ、マア大抵判決ヲ致シマシ  
テモ、中々急ニハ取レナイ場合ガ多イ、ソ  
レガ直キニ時效ニ掛ツテシマフト云フヤウ

ナコトハイケナイト云フノガ、改正ノ趣旨  
デゴザイマス

○中村委員 私ハ此改正案ハ甚ダ改悪案ダ  
ト云フ點デ、高見サンノ御意見ト同ジヤウニ

私共考ヘルノデアリマスルガ、今度ノ改正  
案ノ前ノ方ハ、殆ド事務上ノ改正ノヤウ

デ、手續上ノ問題デアルヤウデアリマスル  
カラ、別ニ議論或ハ質問致ス必要ハナイト

思フノデスガ、時效ノ點ニ付テハ、私ハ確  
定判決ヲ得マシテモ十年ニスルト云フヤウ

ナコトニ付テハ、却テ私ハ惡イコトダト思  
フモノヲ、全ク横ノ方カラ御節介ヲシテ

行クヤウニ吾々ニハ考ヘラレルノデアリ  
マシテ、長イ間此消滅時效ノ規定ガ、言フ

フノデス、消滅時效ト云フモノノ妙味ト云  
フモノヲ、全ク横ノ方カラ御節介ヲシテ

マシテ、長イ間此消滅時效ノ規定ガ、言フ  
ニ言ハレナイ無限ノ味ヒヲ持ツテ居ルト思

フノデアリマシテ、規定ヲ見マスルト、何  
レモ小賣商人ノ債權ダトカ、或ハ職人ノ債

權ダトカ、勞働者ノ債權トカ云フヤウナモ  
ノデ、大體ニ於キマシテ金額ノ少イモノデ

ス、短期時效ニナッテ居ルモノヲ見マスル  
ト、斯ウ云フヤウナモノヲ不確定ノ狀態ニ

長ク置クト云フコトガ、却テイケナインデ  
アツ、斯ウ云フヤウナモノハ時ニ法律ノ上

デ御破算ニシテヤルト云フコトハ、極メテ  
アリマス、デアリマスガ、之ヲ改正ヲ致シ

私ハ法律ノ上ニ於キマシテノ消滅時效ノ妙

味ダト思ッテ居ルノデアリマスルガ、唯此消  
滅時效ノ規定ヲ、裁判ヲヤッテ色々入費ヲ

ト云フヤウナ、サウシタ物質的ナコトニ依ツ  
テ、此無限ノ妙味アル時效ノ規定ヲ一律ニ

スルト云フヤウナコトハ、私ハ改悪ダト思  
ト、改正スペキ點ハアルカモ知レマセヌケ

レドモ、消滅時效ノ規定ハ、私ハ良イ規定  
ダト思シテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ一  
律ニ十年ニスルト云フヤウナコトハ、消

滅時效其モノノ規定ヲ非常ニ改悪スルモノ  
デアルト、私ニハ考ヘラレルノデアリマス  
ルケレドモ、別ニ討論ヲスル積リデハア

リマセヌカラ、唯簡單ニ私ハ反對ノ意見  
ダケヲ申上ゲて置キタイノデアリマス

○藤田政府委員 是ハ私モ議論スル譯デハ  
ナイノデゴザイマスガ、一寸私共ガ此案ヲ  
支持スル心持ダケ申上ゲて置キタイノデア

リマス、此案ガ出マシタ時分ニ、民政黨ノ  
護セズニ、債權者ヲ保護スルコトニナルヂ

ト云フノデ、短期時效ガ出来タモノト私ハ  
心得テ居ルノデス、サウスルトヤハリ證據

ノ關係ガ不明瞭ニナルト云フコトガ、短期

時效ノ原因デアル、サウシテ見マスルト、  
裁判ニ掛ケテ判決ガ確定致シマスレバ、證

據ノ問題ト云フモノハ一應解決シテシマフ  
ノデアリマス、證據ノ問題ガ解決シテシマ

ヒマスレバ、公平ノ立場ニ居ツテ、債務ヲ  
負ッタモノト債權ヲ有スルモノトノ其權利

眼シタノデハゴザイマセズシテ、先刻高見  
氏ト井上政府委員トノ間ニ應答ガゴザイマ  
シタヤウニ、時效ノ期間ヲ色々ニ、一年ト  
カ或ヘ二年、三年ト云フヤウナ短期ノ時效

ガアルノガ、本質的カドウカト云フコトノ  
御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ申上ゲル  
迄モナク債權ノ性質上、サウ取引ガ出來テ

後長イ間其儘放ツテ置ク、權利ノ上ニ眠ル筈  
ハナイデヤナイカ、又料理屋ヘ行ツテ飲ンデ  
ハナイデヤナイカ、又料理屋ヘ行ツテ飲ンデ

ダト思シテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ一  
律ニ十年ニスルト云フヤウナコトハ、消

滅時效其モノノ規定ヲ非常ニ改悪スルモノ  
デアルト、私ニハ考ヘラレルノデアリマス  
ルケレドモ、別ニ討論ヲスル積リデハア

リマセヌカラ、唯簡單ニ私ハ反對ノ意見  
ダケヲ申上ゲて置キタイノデアリマス

○藤田政府委員 是ハ私モ議論スル譯デハ  
ナイノデゴザイマスガ、一寸私共ガ此案ヲ  
支持スル心持ダケ申上ゲて置キタイノデア

リマス、此案ガ出マシタ時分ニ、民政黨ノ  
護セズニ、債權者ヲ保護スルコトニナルヂ

ト云フノデ、短期時效ガ出来タモノト私ハ  
心得テ居ルノデス、サウスルトヤハリ證據

ノ關係ガ不明瞭ニナルト云フコトガ、短期

時效ノ原因デアル、サウシテ見マスルト、  
裁判ニ掛ケテ判決ガ確定致シマスレバ、證

據ノ問題ト云フモノハ一應解決シテシマフ  
ノデアリマス、證據ノ問題ガ解決シテシマ

ヒマスレバ、公平ノ立場ニ居ツテ、債務ヲ  
負ッタモノト債權ヲ有スルモノトノ其權利

ノ存續期間ガ、相變ラズ前ノ判決ヲ經ザル  
狀態ノ取引ト同ジヤウニ、裁判ヲ三箇月モ  
五箇月モ掛ツテ受ケテモ、漸ク確定シテ安  
心シタト思ツテ居ル間ニ、一年經ッテモウ時  
常識上良イコトカ惡イコトカト考ヘテ見マ  
スト、ドウモ筋ガ立タヌヂヤナイカ、モウ  
既ニ裁判ガ確定シテシマッタ後ハ、其時效期  
間ト云フモノハ、サウ短クシテ置クト云フ  
理由ハ消滅シテ居ルヂヤナイカ、消滅シテ  
居ルノダガ、民法ノ規定カラ云フト、創設  
的ノ判決デナク、事實ヲ認定スルノデアリ  
マスカラ、認定シタ債權ノ性質ヲ變更スル  
コトガ出來スカラ、確定シテモ一箇年ノ時  
效ハ、ヤハリ一箇年デ行ツテシマフト云フコト  
ニナルカラ、是ハ民法ノ上ノ缺陷デヘナイカ、  
此缺陷ニハ取敢ズ筆ヲ入レタナラバ宜カラ  
ウ、斯ウ云フコト一部ノ改正ニ著手致シ  
タノデアリマス、其趣旨ヲ靜ニ御考顧ヒマ  
スト、是デ其儘ニ拋ツテ置クト云フコトハ、  
寧ロ宜クナイコトト思フノデアリマス、一  
般ノ政治問題デモ何デモナイ、一般ノ取引ノ  
上ニドウ云フヤウナ影響ヲ齎スカト云フコ  
トヲ御考顧ヒマスレバ、之ヲ直シテ置ク  
シトガ必要デアル、私ハ左様ナ信念カラ致  
シマシテ、此案ノ成立ヲ希望スルノデアリ

マス、私ノ私見ダケヲ一寸申上ゲテ、皆サ  
ンノ御参考ニ供シテ置キマスカラ、ドウカ  
御考ヲ願ヒタイノデアリマス  
○伊藤委員 此百七十四條ノ二ト云フモノ  
ハ、私ハヤハリ餘程眞劍ニ考慮シナケレバ  
ナラス問題ダト思ヒマス、是ハ一體此改正  
スルニ當ツテ、債權者偏重ノ傾向ガ茲ニ現レ  
テ居ルト云フコトハ、否メナニ事實ダト思  
フノデス、只今政府委員カラ、百七十四條  
ノ消滅事項ノ中デハ、労働者ノ賃銀トカ、  
或ハ運送貨デアルトカ、サウ云フモノノ債  
權ヲ判決ヲ得タ場合ハ、保護シテ、ヤツテモ  
宜イデヤナイカ、四年間ノ時效ニ掛ラナイ  
コトガ出來スカラ、確定シテモ一箇年ノ時  
效ハ、ヤハリ一箇年デ行ツテシマフト云フコト  
ニヤウニシテヤツテモ宜イデヤナイカト云  
フヤウナ御話デアリマスルガ、一體運送貨  
方ガ非常ニ無產者ノ場合ガ多イ、詰リ勞  
働者ノ賃銀トカ、或ハ運送貨トカ、斯ウ  
云フモノガ拂ヒ得ナイヤウナ人ハ、其勞  
働者ヤ或ハ運送者カラモ、尙ホ無產者ノ場  
合ガアル、ソレヲ想像サレル譯デス、  
一體是ハ誤ダト思ヒマス、雇人トカ運送  
者ノ如キ少額ノ債權ヲ持ツテ居ル者ヲ保護  
シテ行ツタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ立前

マス、私ノ私見ダケヲ一寸申上ゲテ、皆サ  
ンノ御参考ニ供シテ置キマスカラ、ドウカ  
御考ヲ願ヒタイノデアリマス  
○伊藤委員 此百七十四條ノ二ト云フモノ  
ハ、私ハヤハリ餘程眞劍ニ考慮シナケレバ  
ナラス問題ダト思ヒマス、是ハ一體此改正  
スルニ當ツテ、債權者偏重ノ傾向ガ茲ニ現レ  
テ居ルト云フコトハ、否メナニ事實ダト思  
フノデス、只今政府委員カラ、百七十四條  
ノ消滅事項ノ中デハ、労働者ノ賃銀トカ、  
或ハ運送貨デアルトカ、サウ云フモノノ債  
權ヲ判決ヲ得タ場合ハ、保護シテ、ヤツテモ  
宜イデヤナイカ、四年間ノ時效ニ掛ラナイ  
コトガ出來スカラ、確定シテモ一箇年ノ時  
效ハ、ヤハリ一箇年デ行ツテシマフト云フコト  
ニヤウニシテヤツテモ宜イデヤナイカト云  
フヤウナ御話デアリマスルガ、一體運送貨  
方ガ非常ニ無產者ノ場合ガ多イ、詰リ勞  
働者ノ賃銀トカ、或ハ運送貨トカ、斯ウ  
云フモノガ拂ヒ得ナイヤウナ人ハ、其勞  
働者ヤ或ハ運送者カラモ、尙ホ無產者ノ場  
合ガアル、ソレヲ想像サレル譯デス、  
一體是ハ誤ダト思ヒマス、雇人トカ運送  
者ノ如キ少額ノ債權ヲ持ツテ居ル者ヲ保護  
シテ行ツタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ立前

マス、私ノ私見ダケヲ一寸申上ゲテ、皆サ  
ンノ御参考ニ供シテ置キマスカラ、ドウカ  
御考ヲ願ヒタイノデアリマス  
○伊藤委員 此百七十四條ノ二ト云フモノ  
ハ、私ハヤハリ餘程眞劍ニ考慮シナケレバ  
ナラス問題ダト思ヒマス、是ハ一體此改正  
スルニ當ツテ、債權者偏重ノ傾向ガ茲ニ現レ  
テ居ルト云フコトハ、否メナニ事實ダト思  
フノデス、只今政府委員カラ、百七十四條  
ノ消滅事項ノ中デハ、労働者ノ賃銀トカ、  
或ハ運送貨デアルトカ、サウ云フモノノ債  
權ヲ判決ヲ得タ場合ハ、保護シテ、ヤツテモ  
宜イデヤナイカ、四年間ノ時效ニ掛ラナイ  
コトガ出來スカラ、確定シテモ一箇年ノ時  
效ハ、ヤハリ一箇年デ行ツテシマフト云フコト  
ニヤウニシテヤツテモ宜イデヤナイカト云  
フヤウナ御話デアリマスルガ、一體運送貨  
方ガ非常ニ無產者ノ場合ガ多イ、詰リ勞  
働者ノ賃銀トカ、或ハ運送貨トカ、斯ウ  
云フモノガ拂ヒ得ナイヤウナ人ハ、其勞  
働者ヤ或ハ運送者カラモ、尙ホ無產者ノ場  
合ガアル、ソレヲ想像サレル譯デス、  
一體是ハ誤ダト思ヒマス、雇人トカ運送  
者ノ如キ少額ノ債權ヲ持ツテ居ル者ヲ保護  
シテ行ツタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ立前

債務者保護ト云ッテモ宜イノデス、一體裁判所ニ訴ヘテ、請求權ヲ國家ノ命令デ實行シヨウト取掛ツタ債權者ナノデスカラ、時效ガ短ケレバピシ〜ヤッテシマフコトハ決ッテ居ル、ピシ〜ヤラレ、バ、債務者ハ大恥ヲ搔イテシマフコトハ分り切ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ債務調停法モ出來テ居リマスカラ、其方ヘ持ッテ行ケバ別デアリマスガ、サウデナケレバイデメラレルコトハ分リ切ッテ居ルノデアリマス、今伊藤君ノ御話ノヤウニ、債權者ヲ保護シテ、債務者ノ時效ヲ長ク延バスヤウニ變ヘタト云フヤウナ考ヘ方ハ、時效期間ガ長イカラ十年間消滅セヌ、消滅スル迄ノ時間ガ長クナッタカラト云フコトノミ見テ、サウ云フヤウニ御考ニナルケレドモ、實際ノコトヲ考ヘルトサウデヤナイノデス、又サウ云フ考デ、債權者ノ權利ヲ保護スルト云フ立場デヤッテ居ルモノデハゴザイマセヌ、是ハ實際問題トシテ色々ノコトヲ御想像下サイマスレバ、サウ云フヤウナ考デナイト同時ニ、假ニ只今伊藤君ノ御考ノヤウナコト致シマシテモ、權利義務ノ存續シテ居ルモノヲ辨濟セズニ、早ク失敬シテシマフ途ヲ開ケルト云フヤウナ考ハ、道徳上許スベカラザル思想デアリマス(ノウ〜)國民ガ左様ナ考ヲ持チ、義

務心ヲ躊躇スル所ノ機會ヲ狙フヤウナ法律ヲ頻リニ作ルト云フヤウナコトニナッタラバ、由々シキコトデアッテ、是ハ道徳的ニモサウ云フ思想ハ餘程考ヘナクテハナラヌ、検討ヲ加ヘナクテハナラヌコトダト私ハ信ズル、是ハ政府ノ意見デハアリマセヌ、私ノ意見デアリマスガ(消滅時效廢止論)スカト呼フ者アリ)議論ハ申シマセヌガ、色々ナ場合ヲ御考顧ヒタイト思ヒマス、債權者ヲ保護スル爲ニ、債務者ヲイデメル爲ニ、期間ヲ長クシタイト云フヤウナ御觀察ニ對果モサウデハゴザイマセヌ、左様ニ申上げテ置クダケニシテ置キマス

○伊藤委員 只今ノ藤田參與官ノ御説ハ一寸納得ガ行カヌノデス、一體十年間時效ニ掛ラヌヤウニスレバ、尙更債務者ノ保護シナルト云フコトハ、是ハ一寸常識ヲ以テ判断スレバ、私ハカシイノデハナイカト思ひマス、之ヲ以テ散會致シマス

午後零時五十分散會

○松永委員長 本案ニ對スル質疑ハ大體此位ニシテ置イテ、十日ノ午前十時カラ繼續委員會ヲ開キタイト思ヒマス、ソコデ先程委員カラ御申出ニナリマシタ參考書類ハ、若シ出來得ルコトデアリマシタナラバ、ソレ迄ニ一ツ御取寄せ御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ以テ散會致シマス

ノヲ待ツテボカント執行スルノダト思フノデス、サウスレバ只今ヨリ寧ロ眠ッタ子ヲ覺マスヤウナコトニナッテ、却テ社會ノ情勢ハ旨ク行カヌト思フノデス、ソレカラ十年ノ間ハ時效ニ掛ラヌト云フコトニナレバ、債權者ガ強制執行ヲシナイト云フコトハ、是ハ一體私ハ獨斷ダト思フノデス、サウ云フ考ハ一寸私ハ受取レヌト思フノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ反對ノ考ヲ持ッテ居リマスルガ、此處デ議論ヲシテモ仕方アリマセスカラ、此程度ニ打切ッテ置キマス